



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第183号 (平成 29 年 12 月 5 日)



( 目 次 )

- 1 <林野庁プレスリリースから>わたしの美しい森 フォトコンテストの開催について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(124)
- 3 <森林・林業白書から>松くい虫被害に対応した多様な森林への転換
- 4 <樹をとりまくはなし>(4) 子猫のような毛虫
- 5 <イベント情報>
  - ◆森林環境教育(森林 ESD)活動報告・意見交換会への参加者募集
  - ◆ナイトスノーシュー de 婚活 in 清里～月夜の雪原ハイキングと清泉寮ディナー～
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>  
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》  
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》  
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>




---

1 <林野庁プレスリリースから>わたしの美しい森 フォトコンテストの開催について

---

林野庁を含む「わたしの美しい森 フォトコンテスト」実行委員会は、日本国内の森林や山村地域の魅力的な風景・場面を撮影した写真を募集・表彰し、これを公表するためのフォトコンテストを開催します。

1 概要

林野庁では、本年 4 月 28 日に選定した「日本美しい森 お薦め国有林」をはじめとする各地の森林を貴重な観光資源と位置づけ、地域振興に活用されることを期待した各種施策に取り組んでいるところです。

これを踏まえ、今般、林野庁を含む「わたしの美しい森 フォトコンテスト」実行委員会は、同フォトコンテストを開催し、日本国内の森林や山村地域の魅力的な風景・場面を撮影した写真を募集・表彰し、これを公表することとしました。

このことを通じ、より一層、森林・山村地域を観光客が訪れ、地域への理解が進み、また、地域が活性化することなどが期待されています。

2 応募要領

(1) 募集部門

- (ア)景観部門: 森の絶景・森から見える眺望など、森の風景を撮影したもの
- (イ)生命部門: 森で育まれる生物(昆虫・動植物)の生命・営みをテーマに撮影したもの
- (ウ)体験部門: 森での体験・活動や森での学習により何かを発見したことなどをテ

ーマに撮影したもの

(2) 募集期間

平成 29 年 12 月 11 日(月曜日)～平成 30 年 2 月 13 日(火曜日)(当日消印有効)

(3) 応募資格・方法

○どなたでも応募できます。

○お一人につき 1 部門 1 点、合計 3 点まで応募できます。組写真、加工・編集された画像のものは、不可とします。

○プリントでの応募のみとします。(サイズ:キャビネ・2L サイズ(127mm×178mm)から ワイド四つ切サイズ(254mm×366mm)までの大きさ(B5 六つ切、A4、四つ切を含む))

○カラー、モノクロいずれも応募可能です。

○応募作品の返却はいたしませんので、あらかじめ御了承ください。

○写真の撮影時期は、平成 26 年(2014 年)1 月 1 日以降のものとしします。

○未発表で、かつ、応募者が一切の著作権を有しているオリジナル作品に限ります。

○本コンテストの応募者は、本コンテストに御応募の時点で、応募細則にある注意事項に記載されている諸条件に同意したものとみなします。

○応募作品を送付いただく際には、別紙「応募票」を必ず添付してください。

○送り先

※郵送・宅配便にてお送りください。直接のお持ち込みはお断り申し上げます。

郵便番号 100-8952

東京都千代田区霞が関 1-2-1

林野庁「わたしの美しい森 フォトコンテスト」係

表彰、審査方法等の詳細につきましては、次の URL のホームページをご覧ください。

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kokusou/171120.html>

---

## 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(124)

---

北海道名寄市は雪の中です…。今回は、大学生たちの森林環境教育の状況をお話しします。柳原は、保育を学ぶ学生たちに環境の授業を行っています。学生の半数以上は道内出身者、残りは北東北が多くを占めます。春の観察では一面ブルーに染まったエゾエンゴサク、オオバナノエンレイ草の大群落など心浮き立つ自然に感動するかと思ったら…。意外に淡々と自然に触れ感動は読み取れません？自然豊かな地で育ったのだからそれなりの観察眼を持ち備えているのかな？と思っていましたが、そもそも観察などしたことがない学生がほとんど！「こんなに大自然があるのにどうして森に行かないの？」「だってクマいるじゃない！」そうなのです。市の HP ではクマ情報満載、たとえ足跡が見つかって学校関係に連絡が行きます。自然＝クマ＝危険という思考回路が学生たちに組み込まれているのです。柳原は今年、クマの出そうな時間、場所に狙って行きましたが(車で！)残念なことに、いや運良くその姿は見られませんでした。クマの生息できる自然は豊かです、その地をクマ情報で守っているのかな？とも考えられますが、安全な場所で自然に触れる機会を得る方法はないのかな？と、これから幼児教育を担う学生たちに話しています…。

---

### 3 <森林・林業白書から> 松くい虫被害に対応した多様な森林への転換

---

岩手県における松くい虫被害は、平成 11(1999)年から急増し、その後も北上を続けており、平成 21(2009)年には盛岡市、平成 25(2013)年には内陸部の八幡平市や岩手町において被害が確認されるようになった。

松くい虫被害を媒介するマツノマダラカミキリの年間の移動距離は最大2km 程度と考えられている。このため、保全すべきマツ林の周辺において、森林の所有形態を超えて国有林と民有林が連携してアカマツやクロマツからの樹種転換を図りマツ空白地帯(防除帯)を造成し、マツノマダラカミキリの移動を阻むことが、被害防除を図る上で有効である。

これらのことも踏まえつつ、盛岡森林管理署(岩手県盛岡市)では、民有林の関係5団体とともに、平成 28(2016)年7月に「岩手町横断松くい虫防除帯森林整備推進協定」を締結した。同協定においては、南北2km、東西 14km の範囲を防除帯として設定し、平成 32(2020)年までに防除帯における森林 1,873ha(国有林 860ha、民有林 1,013ha)のうちアカマツの生育する約 600ha において、伐採を通じた樹種転換を実施する計画を掲げている。また、伐採後においては、クリ、コナラ等の広葉樹やカラマツ等の針葉樹から成る多様な森林に誘導していくこととしている。

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

---

### 4 <樹をとりまくはなし>(4) 子猫のような毛虫

---

桜などのバラ科の葉を秋にモンクロシャチホコという毛虫が集団で食べます。桜もすでに働き終わった葉を失ってもさほど害はなく、毛虫自体も毒はありません。それどころかおいしい虫ランキングで5位になっていました。私は手触りが子猫だと思っています。友人に触らせたなら「冷たいから子猫じゃない」と言われてしまいました。子猫の温かさはもちろんありません。虫なので。

イモムシ毛虫は大好きなので、何度か飼ってみました。大勢いた時より明らかに元気がなくなります。案外寂しがり屋なのかもしれません。あと、桜を食べていたのは桜、カリンを食べていたのはカリンと割と頑固に好みを変えない感じがします。カリンを食べて育った成虫はカリンに卵を産むのでしょうか？ガの仲間は卵を多く産みますが、ほとんど成虫になれません。儂い生き物なのです。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

---

### 5 <イベント情報>

- ◆森林環境教育(森林 ESD)活動報告・意見交換会への参加者募集
  - ◆ナイトスノーシュー de 婚活 in 清里～月夜の雪原ハイキングと清泉寮ディナー～
-

## ◆森林環境教育(森林 ESD)活動報告・意見交換会への参加者募集

「教育機関と活動団体が連携・協働して取り組む森林環境教育」の実践事例を募集し、8 事例 12 団体(小学校、幼児教育機関、教育委員会、地域団体、森林インストラクターなど)が、活動報告を行います。

○趣 旨: 林野庁では、「森林」をフィールドとする「森林環境教育」を推進しており、学校や森林ボランティア団体・企業などが、創意工夫した多くの活動が行われています。

幼児期及び学齢期以降を含めた教育機関と活動団体が連携して取り組む事例報告や講演・パネルディスカッションから、ESDの視点で見直した実践の成果や活動団体の役割、保幼小連携などを考え、教育機関と活動団体の連携・協働の促進活動の活性化と森林環境教育(森林ESD)の普及を目的に実施します。

○開催日時:平成 29 年 1 月 27 日(土) 10 時～18 時 20 分

○内 容:講演、8 事例 12 団体から事例報告、パネルディスカッション

○場 所:近畿中国森林管理局 大会議室(大阪市北区天満橋 1-8-75)

○活動報告団体:12 団体 HPを参照

○主 催:近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

○共 催:公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人エコネット近畿

○後 援:文部科学省、きんき環境館、大阪府、国立大学法人 京都教育大学、大阪青山大学、経団連自然保護協議会、全国緑の少年団連盟、NPO 法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟

○展 示:◎活動報告団体の活動展示、◎小学校教科書、森林・林業に関する副読本等の展示

○参加申込詳細等:

[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/information/h27-esd.html#H29](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/h27-esd.html#H29) 森林 ESD

## ◆ナイトスノーシューde 婚活 in 清里～月夜の雪原ハイキングと清泉寮ディナー～

スキーやスノーボードのように難しい技術を必要とせず履いたその時から楽しめるスノーシュー! なだらかな地形の清里は、初めてでも安心のフィールドです。

星空の美しいことでも知られる清里。夜は月明かりに照らされた森や雪原を歩くナイトスノーシューに出かけましょう。

静まり返った雪原の向こうに白く浮かび上がる八ヶ岳や南アルプスの山々。見下ろせば甲府盆地の夜景。日中には体験できない幻想的な光景が広がります。

会場は清里のシンボル清泉寮。地元野菜をふんだんに使ったディナーで舌鼓。

2014 年度より毎年開催していますがうれしいことに以前ご参加くださった方々がこのイベントをきっかけにご成婚されたとのこと!

清里の自然に詳しいキープ協会レンジャー(自然案内人)と成婚率の高さで定評の「婚活 de 八ヶ岳推進委員会」が遊び心いっぱいのスノーシューであたらしい出会いの場をお手伝いします!

主 催:公益財団法人キープ協会

協 力:婚活 de 八ヶ岳推進委員会 <http://konkatsu8.com/>

日 時:2018 年2月 10 日(土)14:30～22:30

場 所:清泉寮(公益財団法人キープ協会/山梨県北杜市)

